

かすみがうら 市議会だより

目次 CONTENTS

- P2-3 令和2年第1回定例会提出議案
- P4-5 議案審査特別委員会議案質疑
- P6 委員会活動
- P7 施政方針に対する質疑
- P8-11 一般質問
- P12 コラム

No. 61

新年初の定例会が行われ
令和2年度予算を慎重審議のうえ
可決しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の
ため、本会議場ではマスクを着用し、
3密を考慮して、議案審査特別委
員会も本会議場で行いました。



▲県指定文化財の絹本着色阿弥陀三尊来迎図
(穴倉 最勝寺)

令和2年第1回定例会議案等議決結果一覧

令和2年第1回定例会が、3月3日から24日までの22日間の会期で開催されました。今定例会では、総額を192億9300万円とする令和2年度一般会計予算など、議案17件を慎重審議し、いずれの議案も可決となり、1件の請願が不採択、1件の請願が趣旨採択となりました。また、3月4日、5日、6日の3日間において一般質問（後頁P 8～11）を行いました。

※賛成は○・反対は◆で記載

加固議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については本会議での表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

11番議員は本人の希望により氏名の掲載を控えていただいております。

	議 席 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
議案番号	氏 名 件 名	櫻井	小倉	久松	宮嶋	櫻井	設楽	来栖	川村	岡崎	田谷		加固	佐藤	中根	鈴木	矢口	議決結果
		健一	博	公生	謙	繁行	健夫	丈治	成二	勉	文子		豊治	文雄	光男	良道	龍人	
1	かすみがうら市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決
2	かすみがうら市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決
3	かすみがうら市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決
4	かすみがうら市交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	－	◆	○	○	◆	原案可決
5	かすみがうら市歴史博物館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決
6	かすみがうら市空き家等の適正管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決
7	かすみがうら市農村公園設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	－	◆	○	○	◆	原案可決
8	令和元年度かすみがうら市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決
9	令和元年度かすみがうら市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決
10	令和元年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決
11	令和元年度かすみがうら市介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決
12	令和2年度かすみがうら市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	◆	○	○	○	原案可決
13	令和2年度かすみがうら市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	◆	○	○	○	原案可決
14	令和2年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	◆	○	○	○	原案可決
15	令和2年度かすみがうら市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決
16	令和2年度かすみがうら市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決
17	令和2年度かすみがうら市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	原案可決

(前ページからのつづき)

【承認案件】

議案番号	議席番号 氏名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
		櫻井 健一	小倉 博	久松 公生	宮嶋 謙	櫻井 繁行	設楽 健夫	来栖 丈治	川村 成二	岡崎 勉	田谷 文子		加 固 豊治	佐藤 文雄	中根 光男	鈴木 良道	矢口 龍人	
1	専決処分事項の承認を求めることについて〈令和元年度かすみがうら市一般会計補正予算（第7号）〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	承認

【発議】

1	請願第2号 かすみがうら市内私立認定こども園・保育園における保育士等の処遇改善助成金に関する請願の採択・不採択の採決を求めることについて	◆	◆	◆	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	-	○	◆	◆	○	原案否決
---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

【請願】

1	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	○	◆	◆	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	-	○	◆	◆	○	不採択
2	かすみがうら市内私立認定こども園・保育園における保育士等の処遇改善助成金に関する請願（趣旨採択）	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	-	◆	○	○	◆	趣旨採択

【諮問案件】

1	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任（塚本 忍、飯沼 禮子）
---	-------------------	----------------

【報告案件】

1	専決処分事項の報告について〈損害賠償の額の決定及び和解〉
2	専決処分事項の報告について〈損害賠償の額の決定及び和解〉
3	専決処分事項の報告について〈（仮称）かすみがうら市ウエルネスプラザ整備事業建築工事請負契約の変更〉
4	専決処分事項の報告について〈損害賠償の額の決定及び和解〉

本会議で行われた主な討論

議案第4号

かすみがうら市交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成	反対
・交流センターを中心とした周辺一帯の機能充実が図られることとなり、より、この地域への集客力が向上することが期待できる。かすみがうら未来づくりカンパニーが一括的に管理することで運営の効率化、複合的な活用の相乗効果が見込まれると考えるため賛成。	・浮き桟橋計画は無駄遣いと感じ、古民家江口屋は期待できる利用者が見込めないと考えるため反対。

議案第12号

令和2年度かすみがうら市一般会計予算

賛成	反対
・市長の様々な公約の実現に向け、市の現状と将来に向き合い、様々な課題に取り組んでいく積極的な予算であると評価できるため賛成。	・新広域ごみ処理施設への移行、マイナンバーカード関連事業、交流センター管理運営事業の事業拡大、スマートＩＣの計画、ウエルネスプラザ管理運営事業、子育て支援について市の独自施策が少ないこと、放課後児童クラブの民間委託、千代田中学校区統合小学校について反対。

請願第2号

かすみがうら市内私立認定こども園・保育園における保育士等の処遇改善助成金に関する請願

（趣旨採択に）賛成	（趣旨採択に）反対
・近隣市で助成を行っている自治体は、その市の事情で政治的判断があったと推察されるため、請願に関わった市民に良識をお願いして趣旨採択に賛成。 ・他市では待機児童の問題など実情に基づいて補助を実施している。本市は保育士配置基準を下回っている施設はなく、単純上乗せの補助金交付は避けるべきだが、3,100名を超える署名については市としても真摯に受け止めるなければいけないと考えるため趣旨採択に賛成。	・趣旨採択では市政に効果が及ばず、市には私的な理由による待機児童がいることから趣旨採択に反対。 ・趣旨採択は乱用すべきではなく、請願の意図する地域間格差の審議がなかったため趣旨採択に反対。 ・近隣市との競争が対等にできないことや、趣旨採択するための理由に誤認、誤解が見られるため趣旨採択に反対。

令和2年 第1回定例会 議案審査特別委員会における主な議案質疑

(3月9日、10日、11日、12日開催)

議案審査特別委員会は議長を除く15名の委員で構成。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため特別委員会における対策として本会議場を利用しての開催となりました。

議案第4号

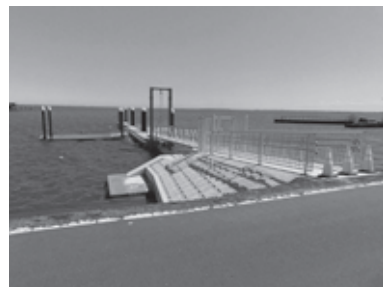
かすみがうら市交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

【議案の概要】

交流センターに歩崎棧橋と古民家江口屋を附属施設として追加するため必要な事項について改正するものです。

Q 棧橋の利用についてどのような使い方を想定しているのか

A イベント時の観光客の送迎であったり、サイクリストと自転車を乗せて歩崎まで来ていただいたり夏休みの体験事業に使えるかと考えております。



▲歩崎棧橋

議案第12号

令和2年度かすみがうら市一般会計予算

【議案の概要】

社会情勢を受け、前年度対比4.1%の増の192億9300万円を計上し、各種事業を実行するための予算を計上するものです。



▲多目的運動広場テニスコート

Q 多目的運動広場管理運営事業のテニスコートの張替え修繕工事770万円の内容は

A 細かい修繕で継ぎはぎも多く危険が伴うテニスコートA、B面の人工芝を全面張り替える予定です。

Q 国際交流・多文化共生謝礼50万円の内容は

A かすみがうら国際交流会という組織が立ち上がり、外国人にやさしい日本語を教える日本語ボランティア養成講座を予定しており、その講師謝礼となっております。



▲アライグマ

Q 環境保全推進事業の特定外来生物等処分業務委託200万9000円の内容は

A アライグマ処分の委託費となり、県内でかすみがうら市はアライグマの捕獲頭数が多く、その処分を委託するものです。

Q 広報誌編集業務委託料435万5000円の内容は

A 広報誌編集を一部民間に委託しているものと、ホームページに掲載する映像制作の委託料となります。



▲かすみがうら市ホームページ
「かすみがうらムービー」



▲あじさい館視聴覚室

Q 霞ヶ浦中地区公民館講座事業の備品購入費171万6千円の主なものは何か

A あじさい館の100人ほど入る視聴覚室の大規模プロジェクターの交換工事が主なものとなります。

Q 稲吉4丁目市道8-4408号線の工事はどのようなことを行うのか

A 道路排水の構造物が未整備であることから、道路の表面排水の処理をするために新たに側溝を設置する工事を予定しております。



▲市道8-4408号線（稲吉4丁目）

総務委員会

○閉会中に行われた委員会

2月17日開催の調査内容

- 令和2年度地域公共交通運行計画について
- 令和2年度行政組織機構の見直しについて
- 通学定期券購入費助成事業の一部見直しについて



▲説明を受ける委員
(千代田庁舎委員会室)

○委員会付託案件等の審査

3月9日開催の調査内容

- 請願第1号「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書について
- かすみがうら市業務継続計画（地震編）について



▲説明を受ける委員
(千代田庁舎全員協議会室)

文教厚生委員会

○閉会中に行われた委員会

2月13日開催の調査内容

- 石岡地域医療計画の策定について
- かすみがうら市空家等対策計画(案)について
- かすみがうら市一般廃棄物処理基本計画(案)について
- かすみがうら市災害廃棄物処理計画(案)について
- 歴史博物館収蔵施設の設置について
- かすみがうらウエルネスプラザ開設に伴う旧志士庫地区第1公民館の取り扱いについて
- 図書館の貸出について



▲説明を受ける委員
(千代田庁舎委員会室)

3月4日開催の調査内容

- 新型コロナウイルス感染症について

○閉会中に行われた委員会

4月14日開催の調査内容

- 霞台厚生施設組合移行後のごみの分別等について
- 新型コロナウイルスに感染した国保被保険者のうち被用者に対する傷病手当金について
- (仮称)千代田中学校区義務教育学校放課後児童クラブの整備について



▲説明を受ける委員
(千代田庁舎委員会室)

市長の施政方針に対する質疑

(3月9日開催)

Q 地域防災力の強化について公助の果たす役割について、特に一人住まいの高齢者の対策についてどのように考えているのか伺う。

A ひとり暮らしの高齢者につきましては、地区民生委員の協力のもとに毎年実態調査を実施し、関係機関と連携された情報を共有することで緊急時の対応に生かすこととし、特に、在宅の要援護高齢者につきましては緊急通報システムや配食サービスによる日常の安否確認の他、民間の居宅介護支援事業所と連携を強化することで連絡体制を確保し非常時に備えてまいります。



▲放課後児童クラブにも活用される
大塚児童館

Q 放課後児童クラブを本年10月から民間委託するとしているが、その理由について伺う。

A 放課後児童クラブは、児童個々への細やかなサポートや多様化するニーズへの対応が必要であり、サービスの向上が求められているところです。放課後児童健全育成事業検討委員会において民間委託の導入は有効であるとのご意見をいただいたところで、また、国においては「多様なニーズを満たすため民間サービスを活用し公的な基盤整備と組み合わせることも有効である」としており、民間委託によって質の向上が期待されることから、民間委託するものであります。

Q 効率的・効果的な行政運営について、安定した財源を確保して今後とも質の高い行政サービスを提供していけるか伺う。

A 健全な財政運営を行うことは大前提ではありますが、事業を見極め、適切な地方債を活用していくことが必要と考えます。さらに健全財政運営を行っていくため効率的な組織機構の構築を図り、事業においては継続的に費用対効果を検証し真に必要な事業の取捨選択を厳しく行っていくことで経常経費を圧縮するなど行政改革についてもより一層努めてまいります。



Q 骨髄などを提供するドナーへの経済的負担の軽減を目的とした助成制度を図るとしているが、具体的にはどのようなことを考えているのか伺う。

A ドナー休暇の制度の適用を受けられない方や個人事業主の方へ、骨髄などの提供にかかわる通院または入院を要した費用に対し1日2万円、最大7日分14万円を限度に助成を行うことを考えております。

Q 千代田中学校区の統合整備に関しては廃校となる小学校の今後の利用計画とあわせて熟慮が必要と考えるが、市長の考えを伺う。

A 学校の適正規模化による統廃合は、地域の実情に沿うことも重要と考えております。統合により廃校となる施設の跡地利用などの課題もありますが、まずは市内で最初となる義務教育学校を魅力ある学校にしていまいりたいと考えております。



▲千代田中学校

川村 成二 議員



Q 神立停車場線の円滑な交通導線と安全確保となる施策について伺う

A あらゆる角度から考え、できる限りの対策はしたいと考えております

Q 神立停車場線の円滑な交通導線及び安全確保となる施策として横断歩道の整備が必要であり、また、通学路として利用している市民や歩行者が困っている実態を鑑み街灯などの整備、加えて自転車走行レーンの表示が必要と考えるが市長の見解を伺う。

A 市長 神立停車場線につきましては車両、歩行者、自転車など多くの利用が見込まれており、交通安全及び防犯対策につきましてはあらゆる角度から考え、できる限りの対策はしたいと考えております。また、自転車走行レーンの整備については、導線などを考慮しリダーシップを発揮して、できる限り早期に整備を図ってまいりたいと考えております。

Q SDGsを明記した関連事業を推進する自治体の事業に対しては、国からの各種交付金などについて交付が優位になる可能性があるとされています。斬新的な取り組みをすることにより、市民に対してだけでなく、国に対して大きなアピールにつながる。市としてSDGsの新たな取り組みを行うことについて市長の見解を伺う。

A 市長 本市におきましてもSDGsの考え方を取り入れることは有効と認識しており、次期総合戦略におきましてSDGsの達成に向けた取り組みを位置づけるとともに、市民の皆様の企業や市民団体などあらゆるステークスホルダーと連携をしながらSDGsの普及に推進するとともに、本市の持続可能な社会づくりに取り組みたいと考えております。

質問事項

- 1 新しい枠組みとしてのSDGsの認識と行政事業への展開について
- 2 神立停車場線の防災機能ならびに安全・安心機能の考え方について
- 3 千葉県における倒木等による大規模停電と復旧の長期化を教訓とした本市の自然災害への対応策について



▲神立停車場線（稲吉南）

宮嶋 謙 議員



Q お金の使い方を精査して、デマンド型乗合タクシー存続を前向きに検討すべきではないか

A 持続可能な公共交通に向け、デマンド型乗合タクシーも含め様々な形で検討していきたい

Q 利用者がほとんど今見込まれていない千代田神立ラインに1500万円、効果が疑問な通学定期助成に1000万円、バスの沿線でない人は利用できない免許返納者へのバス回数券に120万円が使われている。その他、23300万円は介護特別会計でまかなえ、これら合計で3000万円が捻出できる。お金の使い方を精査して、もっと利用が増える乗合タクシーを存続できるか、前向きに考えていただきたい。

A 市長 持続可能な公共交通に向けまして、デマンド型乗合タクシーも含めまして、様々な形で検討していきたいと思っています。デマンド型乗合タクシーを前提とした改正ということではなくて、広く持続可能な公共交通をつくるという中で、デマンド型乗合タクシーも1つに含まれているということでございます。

Q 市職員が業務で使用する名刺や作業服などを自己負担させていますが、これら業務遂行上必要な物品は公費で賄うべきではないか。名刺用紙を公費で買って、庁内でプリントすれば自腹を切らなくても済みます。また草刈りや道路の補修など現場で汚れた作業をする職員には、作業服を貸与すべきではないか。

A 総務部長 名刺は一般事務用の消耗品として購入し、そこまでのロットが必要のない人も使えるような体制も可能ではないかと考えております。現場に出るときには作業服に着替えて出かけるというメリハリをつける中で、作業服として用意する必要性は確かにあると思いますので、担当の部署等の状況等、作業服の耐久性や負担の状況等も調査をして、検討をさせていただきます。

質問事項

- 1 交通弱者の大切な移動手段であるデマンド型乗合タクシーを廃止することについて
- 2 市職員が業務で使用する名刺や作業服などを自己負担させていることについて
- 3 市民の声を聴き、政策に反映させる取り組みについて



▲乗合タクシー（霞ヶ浦地区）

久松 公生 議員



Q 通学定期券購入費助成事業の今後の展望について伺う

A 新たに県内の大学や専門学校などへの通学を対象と考えております

Q 通学定期券購入費助成事業については県外の大学や専門学校などに通う学生の保護者が対象となる助成事業です。一方で「なぜ対象者が県外に限られるのか」などの声があるが、今後の展望について伺う。

A 市長公室長 通学定期券購入費助成事業については、令和2年4月から新たに助成対象の拡大を図り、これまでの県外の大学や専門学校などに通学する学生の保護者に加え、県内の大学や専門学校などへ通学する学生の保護者の方々を新たに対象とし、今後とも若い世代の転出抑制、本市への移住促進、教育における保護者の経済的負担の軽減を図りたいと考えております。

Q 市では、観光振興として、人気が再燃するキャンプなどのレジャーと自転車活用を組み合わせた宿泊型サイクリング事業の推進をするとしている。そのためのツールとしては通年利用できるキャンプ場が必要と考えるが、市の考えを伺う。

A 都市産業部長 本市でもこのブームは観光誘客にも好機であると考え、バイクアンドキャンプの誘致や開催支援を行ってまいりました。令和2年度事業で計画中の宿泊型サイクリング事業についてもバイクアンドキャンプの開催実績を参考に本市の魅力アピールするためのイベントとして企画したいと考えております。通年でキャンプができる施設については幅広いキャンパーの誘客に加え、老朽化する観光施設を最適化する観点からも、効果的な手法であると理解しており、今後のアウトドア・レジャーに関するブームやニーズ動向調査を総合的に判断しながら検討してまいります。

質問事項

4321 千代田中学校区の義務教育学校について
下稻吉中学校（防災型）体育館について
つくば霞ヶ浦りんりんロードの活用について
通学定期券購入費助成事業について



▲JR常磐線

中根 光男 議員



Q 安全運転サポカー補助金についての周知徹底について伺う

A 窓口やホームページなどでの周知で活用を促したい

Q 令和元年度の国の補正予算で安全運転サポート車、サポカーの普及へ約1127億円の補助金が計上された。本市において、補助金制度の周知徹底と補助対象者について伺う。

A 市民部長 サポカー補助金につきましては高齢運転者の安全対策を行うことを目的としまして、民間団体などが実施する事業に対して補助金を交付するものです。令和元年度中に満65歳以上となる高齢運転者が対象となり、本市において令和元年12月現在の65歳以上の免許保有者は8440人となっております。市としても高齢者の交通安全対策のため、窓口やホームページで周知を行うなど、積極的な活用を促していきたいと考えております。

Q 中高年の引きこもりについて、国の調査結果では15歳から39歳までの引きこもり推計が54万人で40歳から64歳までの中高年のひきこもりが61万人という、若年層より中高年のひきこもりが多いという結果が発表されましたが、本市の具体的な支援策について伺う。

A 保健福祉部長 本市ではひきこもりの状態にある方やその家族への支援に向け、ひきこもり支援事業や支援団体等の研修会を市の社会福祉協議会で実施しております。今後の具体的な支援策としては、生活困窮者自立支援制度の自立相談支援事業及び就労準備支援事業を最大限活用するとともに、県が設置するひきこもり地域支援センターなどの連絡体制を密にするなど関係機関や支援団体との連携による支援を徹底することを考えております。

質問事項

4321 安全運転サポカー補助金について
プログラムミング教育について
中高年ひきこもり支援について
河川の整備について



▲安全運転サポカーステッカー

来栖 丈治 議員



Q クラウドファンディング型ふるさと納税について伺う

A ふるさと納税サイト「さとふる」で募集することが可能です

Q 総務省立ち上げでクラウドファンディング型ふるさと納税という制度ができ、納税額もしくは補助金など、その金額を上限として交付税措置されると聞きますが概略を伺う。

A 都市産業部長 ふるさと納税サイト「さとふる」で募集することが可能なので様々な事業との連携と有効活用方法を検討してまいります。ふるさと起業家プロジェクトやふるさと移住交流促進プロジェクトなどは、第2期まちひととしご創生総合戦略の施策の担当部署と調整していきます。今後は、事業連携による相乗効果や地道な支援者の増加を目指して取り組んでまいります。

Q 市街化区域外の区域では、ここ5年で1921人が人口減少しており、様々な事情から行政区を抜ける方も出てきた。集落の維持を心配する意見も少なくない。45道府県231団体が加入し、小規模多機能自治推進ネットワーク会議が動いている。本市でも行政区自治を高め活性化を図る観点から、今後のありようを学ぶことを提案し小規模多機能自治加入について伺う。

A 市長公室長 皆様の提案を正面から受け、ともに課題解決に向けた体制を作り、かすみがうら市の将来を考えていくということから、小規模多機能自治について職員のみならず、地域の皆様方にも勉強していただくことは重要であります。どのようにしていくかについて今後検討してまいります。

質問事項

- 1 人口減少の抑制のため、人口ビジョンや地方創生総合戦略、移住定住政策の活性化について
- 2 市民総参加による住みよい郷土づくりと公共施設等の管理計画について
- 3 かすみがうら市のオープンデータの取り組みの基本的な考え方について
- 4 ふるさと納税とかすみがうら市のPR活動について



▲さとふるホームページ

設楽 健夫 議員



Q 市長公室より提出されていた市政治倫理条例案と資料はどのようなものであったか

A 全員協議会に説明資料として提出した経緯がございます

Q 平成25年5月8日に市長公室より提出されていた市政治倫理条例案と関連資料についてどのようなものであったか伺う。

A 市長公室長 提出資料は、本市の政治倫理条例（案）と同施行規則（案）、本市の条例（案）と石岡市政治倫理条例の比較表、参考及びその他資料として、県内市町村の条例制定一覧表と関係法令、石岡市政治倫理条例及び同施行規則の写しでした。当該条例（案）及び施行規則（案）は、市長等特別職と市議会議員を含めた内容となっており、平成25年5月8日開催の市議会全員協議会に説明資料として提出した経緯がございます。

Q かすみがうら市職員採用における最終選考は、3名の副市長あるいは教育長、行政職により行われます。公平性を担保するために、県採用制度の総合点数上位順に採用していくという制度に切り替えていく用意はあるか。

A 総務部長 県の制度も含め全国の様々な事例を研究し、必要に応じ改善をしてまいりたいと考えております。

質問事項

- 1 政治倫理条例制定・法令順守（コンプライアンス）の行政運営・マネジメントシステムについて
- 2 協同病院接続（田村沖宿延伸）道路―出島用水道路改良工事、国道6号バイパスについて
- 3 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の実施状況（互助制度）デマンド型乗合タクシー制度存続と改善―提案されている制度の検討及び公共交通について
- 4 教育基本法における教育の機会均等及び学校給食法・給食実施基準・食育基本法の当市の実施状況について



4321

新広域ごみ処理施設建設及び運営について
危険な民家のブロック塀の補助について
子育て支援について
国保税の引き下げについて

質問事項



佐藤 文雄 議員



Q 新広域ごみ処理施設の運営について、
ごみの有料化を検討しているのか伺う

A 現在予定はございません

Q 市長は、「ごみの有料化は、ごみの収集に要する費用の一部を手数料として負担を求めるものであり、ごみの減量化、ごみ排出者の責任がより明確になり、市民のごみ問題への意識が高められるということが期待できるという利点もある」と言っているが、改めて市長の見解を伺う。

A 市長 ごみの有料化については、現在予定はございませんが、有料化することによって、ごみの減量化には何らかの形で影響はあると思います。

Q 当市の総合計画では、保育所民営化の推進とあるが、市長の見解を伺う。

A 市長 老朽化した施設の改築・改修に係る経費の国県補助制度が改正をされ、公立施設は対象外となりました。私立施設は、交付金制度として支援されており、整備に要する経費の確保が公立より容易であることから社会情勢を鑑み、以前に策定しました市立保育所運営計画を見直して公立保育所につきまして、民営化を視野に入れた保育行政の充実を図ってまいります。

矢口 龍人 議員



Q 中心市街地の複合交流拠点の整備について伺う

A 令和3年度以降の整備に向け準備を進めております

Q 下稻吉中地区における複合施設整備計画の実施計画推進状況について、中心市街地に複合交流拠点整備を令和3年に実施するとしていたが、具体的な計画を示し実行する考えはあるか伺う。

A 市長 現在策定を進めております立地適正化計画と併せまして、J R 神立駅周辺における土地利用基本構想の策定を進めていくところです。複合交流拠点の整備にあたりましては、第2次総合計画や立地適正化計画などの関連計画の整合を図りながら、誰もが学び、人が集まり、地域情報を発信するなど地域交流拠点として令和3年度以降の整備に向け現在準備を進めております。

Q 千代田中学校地区4小学校の統廃合による義務教育学校の整備計画について、ソフト面、ハード面の進捗状況を伺う。

A 教育部長 ソフト面につきましては市学区審議会から学区及び小規模特認校制度の適用が適当であるとの答申を受け、今後、開校準備委員会を設置し、開校に向け準備を進める予定です。

また、ハード面につきましては、令和2年3月に設計作業が完了しますので、新年度早々から準備を行い、工事を進め、令和4年度の開校を目指してまいります。

4321

市長公約である下稻吉中地区における複合施設整備計画の実施計画進捗状況について
本市の市民協働による地域コミュニティづくりについて
霞ヶ浦地区と千代田地区のまちづくりの一体化について
義務教育学校整備に伴うソフト面並びにハード面の整備計画の進捗状況について

質問事項



▲ J R 神立駅



議会を傍聴して 市の動きを知りましょう！

本会議は、どなたでも自由に傍聴することができます。
議会での議員の発言や、市長の考えなどを聞くことができます。
第2回定例会は、6月2日(火)から17日(水)までの16日間で開会予定
となっております。



●2月●
6日 議会運営委員会
全員協議会

13日 文教厚生委員会
総務委員会

18日 新治地方広域事務組合議会定例会
湖北環境衛生組合議会定例会

19日 石岡地方畜場組合議会定例会
議会運営委員会

25日 議会運営委員会
全員協議会

●3月●

3日 議会運営委員会
全員協議会

3日～24日 令和2年第1回定例会

4日 文教厚生委員会
総務委員会

9日 文教厚生委員会
産業建設委員会

令和2年第1回
定例会では、
延べ**65**名
の方が本会議を
傍聴されました。



9日～12日

令和2年第1回定例会議案審査特別委員会
議会運営委員会
全員協議会

●4月●

14日 文教厚生委員会
新治地方広域事務組合議会臨時会

15日 議会運営委員会
議会だより編集特別委員会

21日 議会だより編集特別委員会
全員協議会

28日 議会だより編集特別委員会
全員協議会

議会だよりお知らせ版 発行中止のお知らせ

4月16日開催の議会運営委員会において新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、第2回定例会の一般質問通告が先送りされることとなりました。

これに伴い、
5月20日発行の
議会だよりお知
らせ版の発行を
中止とさせてい
ただきました。



編集後記

新型コロナウイルスの抑制に向けて、かすみがうら市では市内5ヶ所において除菌水の配布に一早く取り組みと共に防災無線放送での注意喚起・情報提供に努めています。その様な中で、「防災無線放送が聞きづらい」という声をお聞きます。是非メールマガジンに登録頂ければと思います。放送の内容が迅速に、そして正確に携帯やPCに送られてきます。登録についての詳細は、かすみがうら市HPから「メールマガジン」と検索下さい。

議会だより編集特別委員会委員長 櫻井 繁行

ご意見をお寄せ下さい